

農 研 速 報

平成 26 年 9 月 30 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301－0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL 0297－62－0206 FAX 0297－64－0667

作物名（大豆）

県 名	生育ステージ		生育の状況	問 題 点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 粒肥大期	平年並	<p>8 月第 6 半旬から 9 月第 5 半旬の気象概況は、平年と比較して日平均気温が 3.0℃低く、日照時間は平年比 63%、積算降水量は平年比 65%であった（龍ヶ崎アメダスデータ。平年値は直近 5 ケ年の平均値）。</p>	特になし	<p>●病虫害防除をこれまでに 4 回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 莢害虫防除：8/12, 8/20 9/3, 9/17 ・ 紫斑病防除：8/20, 9/3 <p>○適期収穫を実施する。</p>
	納豆小粒 粒肥大期	平年並	<p>タチナガハは主茎長、主茎節数、分枝数および茎の太さが平年並である。株あたりの地上部生体重は平年比 117%と重い。着莢の状況は、株あたりの莢数が平年比 80%と少ないものの一莢重は平年比 155%と重いことから、株あたりの莢重は平年比 129%と重い。</p> <p>納豆小粒は主茎長がやや長く、主茎節数および茎の太さは平年並、分枝数は多い。株あたりの地上部生体重は平年比 112%と重い。着莢の状況は、株あたりの莢数が平年比 80%と少ないものの一莢重は平年比 124%と重く、株あたりの莢重は平年比 104%である。</p> <p>現在の生育状況は表 1 および図 1 の通りである。</p>		

※病虫害の発生動向の詳細については、病虫害防除所ホームページを参照する。
(<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>)

表 1 生育診断調査(9月25日調査、播種後98日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月28日	-4 (8月1日)	-4 (8月1日)	59.7	84 (71.4)	98 (58.2)	14.3	97 (14.7)	104 (13.6)	4.4	102 (4.3)	105 (4.2)	10.9	100 (10.9)	103 (10.6)
納豆小粒	8月4日	-2 (8月6日)	-2 (8月6日)	82.2	96 (85.8)	108 (76.2)	17.5	98 (17.9)	105 (16.7)	8.8	110 (8.0)	124 (7.1)	11.6	98 (11.8)	105 (11.1)

品種	地上部生体重			一株莢数			一莢重			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/莢)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	332	105 (316)	117 (284)	70	97 (72)	80 (88)	1.89	107 (1.76)	155 (1.22)	130.3	110 (118.9)	129 (101.4)
納豆小粒	370	106 (350)	112 (329)	202	83 (242)	80 (251)	0.56	108 (0.52)	124 (0.45)	113.3	98 (116.2)	104 (108.5)

試験場所: 農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。

()内は前年値又は平年値。平年値は直近5カ年分(平成20年~25年、平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)のデータの平均値。

茎の太さ: 第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定した。

耕種概要: 6月19日播種、11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量; N-P₂O₅-K₂O: 0.3-1.2-1.2(kg/a)



図 1 農研水田利用研究室圃場における生育状況(9月25日撮影)

播種日: 6月19日, 栽植密度: 11.1株/㎡(畦間60cm×株間15cm)1本立て, 施肥量(kg/a): N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2